

ECHIGO-TSUMARI

ART FIELD 2026 WINTER



ホンヤラドウ Snow Meeting

2026.1.24sat - 3.8sun

越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊

6lines studio+塙本由晴、山本愛子、井原宏路

ディレクション：BankART1929

6lines studio+ 塙本由晴《雪待ち居い》イメージ図(部分)

ホンヤラドウ – Snow Meeting

場所 | 越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊

会期 | 2026/1/24 (土) - 3/8 (日)

※祝日を除く火水定休

時間 | 10:00-17:00 (最終入館16:30)

※ライトアップ: 1、2月は20:00まで、3/1(日) 以降
21:00まで

料金 | 無料

十日町では、小正月の頃に「ほんやら洞」と呼ばれる雪でできた家をつくり、地域ごとに憩いの場を設ける風習があります。この冬、MonETの建物を、雪を楽しんだり感じたりしながら、人々が集う大きな「ホンヤラドウ」として演出します。アトリエ・ワン共同主宰の塙本由晴と、塙本研究室出身の建築コレクティブ・6lines studio が、中庭に移り変わる雪の風景《雪待ち囲い》を生成し、夏秋に参加した山本愛子、井原宏路も冬を彩る新たな展開をみせます。会期中にはワークショップも実施します。

参加作家



《雪待ち囲い》

6lines studio + 塙本由晴

東京科学大学(旧東京工業大学)建築学系教授でアトリエ・ワン共同主宰の塙本由晴と、塙本研究室出身の大山亮、片山果穂、笹木聖、渕野剛史、増井柚香子、宮崎陸による建築コレクティブ・6lines studio の共同企画。

十日町の人々の暮らしは毎年やってくる大雪と共にあります。雪に備えて仮設的につくられる雪囲いや雪棚を参照し、茅や稻藁、サルベージした木材を用いたトンネルと雪用民具のツールシェッドを制作した。建築家原広司が「地球を見るための孔」と表現したMonETの中庭は、雪が降り積もるにつれて民俗的な雪庭へと変わり、回廊をつなぐもう一つの孔が現れる。そんな想像を膨らませながら、雪を待つ。



《All Things are in Flux #5》Photo by Mikoto Yamagami

山本愛子 / Yamamoto Aiko

美術家。1991年神奈川県生まれ、京都府在住。アジアを中心とした国内外でのフィールドリサーチや滞在制作を通じて、自然環境と人間の関係性を主題に、主に染色技術を用いた作品を制作している。本作では、越後妻有の自然物をモチーフに、自身のドローイングの筆跡を織り交ぜ、サイアナタイプによる表現を試みる。



《足跡を裏返す》

井原宏路 / Ihara Koro

1988年大阪府生まれ。東京都在住。生物が生きることで生み出した副産物や生物の習性などに着目し、それらを生物が作った彫刻として自立させる作品を制作している。雪上に残る動物の足跡は、風化して消える刹那的な生命の痕跡である。その形を型取りし反転させることで、踏みしめられた空間を彫刻として立ち上げ、絶えず生まれては消える生命の証を残した作品を展開する。

イベント・ワークショップ

○「オープニングギャラリートークツアー」

1/24 (土) 14:00 MonET回廊/無料

開幕初日、ツアー形式で参加作家によるオープニングギャラリートークを行います。

○ 井原宏路「雪の下を想像(創造)する」※要予約 2/21(土) 13:00-15:00

会場 | 越後妻有里山現代美術館 MonET 及び周辺
参加費 | 一般 1,000円、小中学生 500円

対象 | 小学生以上

雪を詰めた箱の中に、指や道具を使ってくぼみや跡をつくり、その形に水性樹脂を流し込んでレリーフ彫刻を作ります。雪の詰め方や気温によって、形がはっきり写し取られることもある、樹脂の熱で雪が溶け、思いがけない形が生まれることもあります。流し込みは一度限り。偶然や自然の働きに身を委ねながら、この瞬間にしか生まれない、世界にひとつだけのかたちをつくります。

○ 山本愛子

「NATURE COLOR PICNIC in 妻有／草木染めの会 vol.2」※要予約

3/7 (土) ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

会場 | 越後妻有里山現代美術館 MonET
参加費 | 一般 1,000円、小中学生 500円

対象 | 小学生以上

越後妻有で採れた冬の植物を使って草木染めを体験する会です。染料として使われる植物をお茶として味わう時間もあります。また、天気が良ければ、作家が昨年の夏に染めた布を雪の上に広げて行う「雪晒し」も実施予定です。のんびりとした時間のなかで、染色を通して自然の循環や色の移ろいと一緒に楽しみましょう。

※各WSの予約・持ち物や注意事項などの詳細は大地の芸術祭HPをご覧ください



BankART1929

2004年から横浜を拠点に、歴史的建造物や遊休空間を公設民営の芸術文化施設として活用し、アート、建築、パフォーマンス、まちづくり等、幅広い分野を横断しながら活動。2025年からは、これまで培った「都市の経験」と様々な関係性をもとに、多様な人々と協働することで、社会とアートの新たな地平を切り開いていく。越後妻有では、2006年に「BankART 妻有 桐山の家」をオープン。築100年の農家を建築家のみかんぐみや美術作家たちとリノベーションし、以降の芸術祭に毎回参加。

問い合わせ

越後妻有里山現代美術館

MonET

新潟県十日町市本町

6の1丁目71-2

越後妻有交流館内

TEL : 025-761-7766

info@tsumari-artfield.com



「越後妻有の冬 2026」共通チケット

「越後妻有の冬 2026」会期中(2026/1/24-3/8)お得に楽しめる共通チケットを活用して、冬の越後妻有とアートをお楽しみください。2回目は個別鑑賞券の半額で入館できます。

料金:一般 2,000円

小中学生 800円

未就学児 無料



芸術祭 HP



English

主催: 大地の芸術祭実行委員会、NPO法人越後妻有里山協働機構、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

委託: 令和7年度日本博2.0事業(委託型) Japan Cultural Expo 2.0



日本博 HP